

ハンドブック ワンポイント レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

1月に実施された1級審判員検定会での質問です。

インプレー中にベースラインプレーヤーが打ったボールが自分のパートナーのネットプレーヤーのラケットや身体・着衣にわずかに触れて、相手方コートに飛んで行った場合（もちろん当たったペアの失ポイントですが）の対応方法（コール又はサイン等）が現在のハンドブックでははっきり読み取れないのですが…。

「タイム」をかけて説明するのか、あるいはコールなしでいくのか、「インターフェア」を適用するのか、明らかに触れたことが分かる程度ならよいのですがコールをしないとプレーが止まらないような場合もあると思うのですが、どう対処すればよいのでしょうか。

Answer

インプレー中のボールがパートナーのラケットや身体・着衣にわずかも触れて相手方コートに飛んで行った。上記のような、ボールがラケットのフレームに触れた場合「チップ」、打ったボールがプレーヤーの身体・着衣に触れた場合「ボディタッチ」が該当する。なお、サインは審判規則の第11条（サイン）第3号ウ〔解説23〕6を適用する。

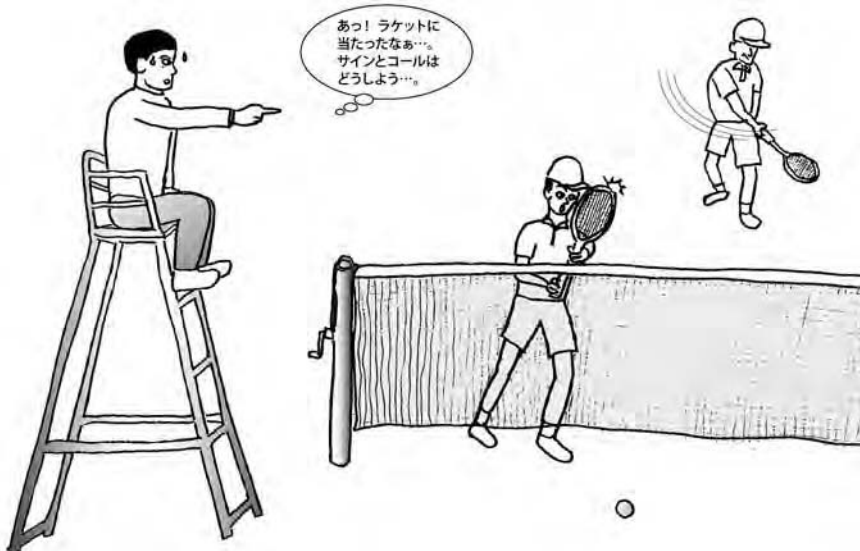
盲点を突いた、とてもよい質問ですね。

この質問は相手方で起きれば何ら問題なく、「チップ」とか「ボディタッチ」とコール又は片手で失ポイントに該当する事を行ったプレーヤーを指してサインが出来たのでしょうか、質問者はパートナーの身体・着

衣に触れ相手方コートに飛んで行ったものだから、「さて」味方の場合はと考えたのでしょうか。味方のパートナーに触れたので打った側が失ポイントになることは理解しているのですが、その時のコールとサインはどうするのかハンドブックには書かれていないのでハンド

ブックの条文が読み切れなかったようですね。

たしかに、競技規則第35条（インプレーにおける失ポイント）には、「パートナーのラケットや身体・着衣に触れて相手方コートに飛んで行った場合」の記載はありませんが、同第4号に「打ったボールがプレーヤーの身体・着衣に触れた場合」とありますので、プレー上で起こりえた場合（相手方・身方区別しないプレーヤー）と考えられたら如何でしょう。



別表「判定及びカウントのコール」21にボディタッチについて、「競技規則第35条第4号を適用した場合のコール（失ポイント）」とあります。また、審判規則第11条（サイン）第3号ウには「その他の判定区分で失ポイントになる場合は、付図（オ）の通り、片手で失ポイントに該当することを行ったプレーヤーを指して、当該失ポイントに該当するコールをする。更に【解説23】の6に、第3号付図（オ）で、「プレーヤーを指す手はネットに対し、左のプレーヤーに対しては左手で、右側のプレーヤーに対しては右手で行う。」ことになっています。

ところで、今回の質問に対し回答する上で厳密に言うならば別表21「チップ」の意義の説明文の末尾に、【ただし、第25条第5号に該当する場合は「フォールト】と書き足してあれば分かりやすかったかと思いました。なお、今回はサービスの場合の事例については紙面の都合で省きますが、「ボディタッチ」ではなく「ダイレクト」の用語を使う場面が出てきます。皆さん、この機会に「ソフトテニスハンドブック」を読みなおしましょう。

【関連規則】

競技規則第 25 条（サービスのフォールト）(5)

競技規則第 35 条（インプレーにおける失ポイント）
(4)、(7)

審判規則第 11 条（サイン）(3) ウ、【解説 23】 6

審判規則 13 「ダイレクト」、21 「ボディタッチ」、
22 「チップ」

ジュニア審判マニュアル

「競技規則について」

7、サービス (5)

サービスがフォールトになるのはどんなときか⑤

11. ポイントを失うのはどんなときか? (4)、(13)

「審判規則について」

3. サイン (2) ⑤

「判定及びカウントのコール」

13 「ダイレクト」、21 「ボディタッチ」、22 「チップ」
